

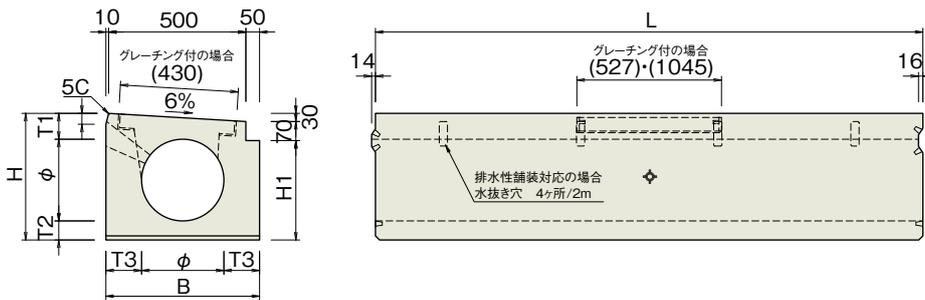
協会統一型円型水路



本体寸法図

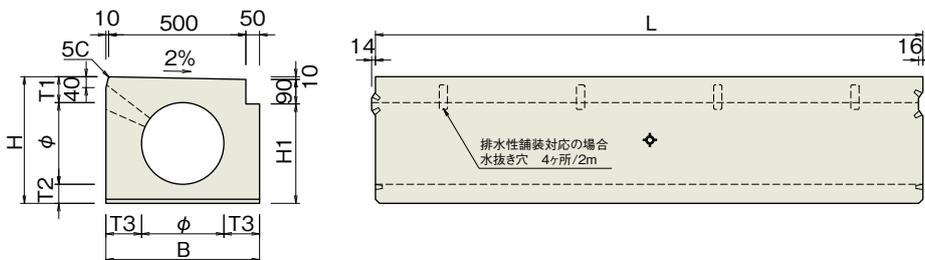
(単位:mm)

I 型 標準タイプ (エプロン6%勾配、グレーチング0.5m付、グレーチング1.0m付) (暗渠)



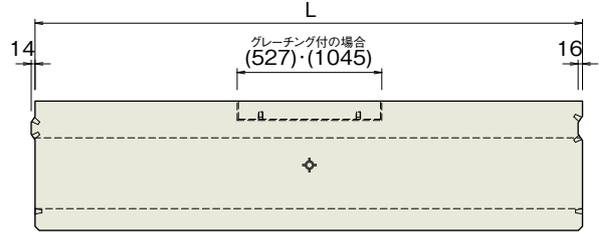
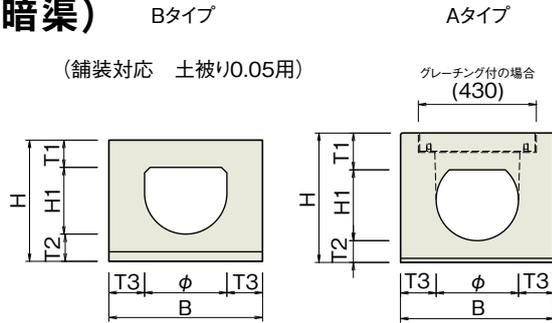
種類	呼び名	H	B	H1	T1	T2	T3	L	参考重量(kg)		
									標準	グレーチング L=500付	グレーチング L=1000付
I 型	φ300	465	560	365	95	70	130	1995	830	780	730
	φ400	575	560	475	95	80	80	1995	861	814	768

I 型 バリアフリータイプ (エプロン2%勾配) (暗渠)



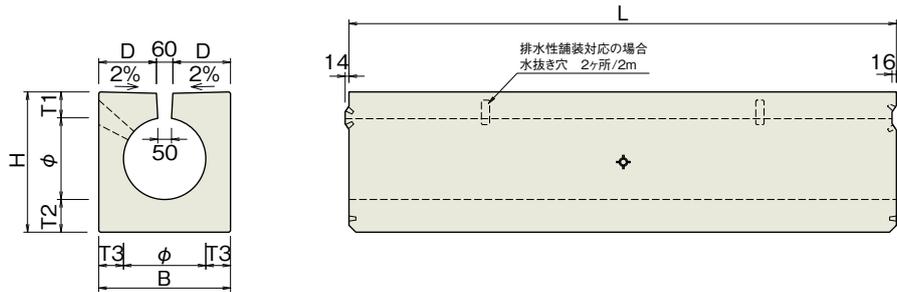
種類	呼び名	H	B	H1	T1	T2	T3	L	参考重量(kg)
									標準
バリアフリー	φ300	465	560	365	95	70	130	1995	852
	φ400	575	560	475	95	80	80	1995	884

I 型 (V型、横断タイプ) (暗渠)



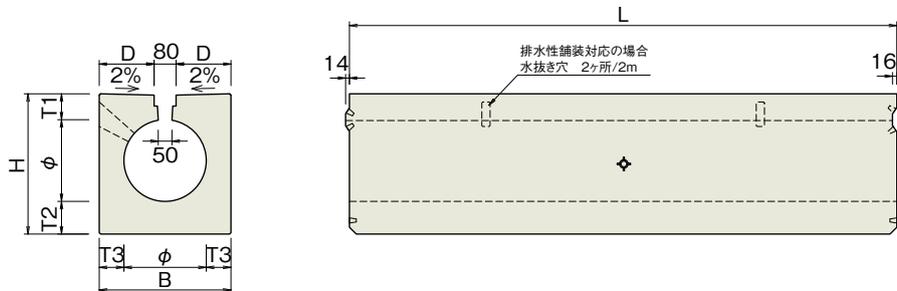
種類	呼び名	H	B	H1	T1	T2	T3	L	参考重量 (kg)			タイプ
									標準	グレーチング L=500付	グレーチング L=1000付	
V型 (I型用)	φ300	475	560	260	135	80	130	1995	905	847	776	A
	φ400	595	560	360	135	100	80	1995	974	911	848	A
	φ300	445	560	245	100	100	130	1995	850	(舗装対応用)		B

II 型 自動車専用道路 (開渠)



種類	呼び名	H	B	D	T1	T2	T3	L	参考重量 (kg)
II 型	φ200	383	360	150	93	90	80	1995	485
	φ250	449	420	180	94	105	85	1995	637
	φ300	515	480	210	95	120	90	1995	817
	φ350	575	540	240	95	130	95	1995	998
	φ400	606	600	270	96	110	100	1995	1108
	φ500	727	720	330	97	130	110	1995	1528
	φ600	848	850	395	103	145	125	1995	2050

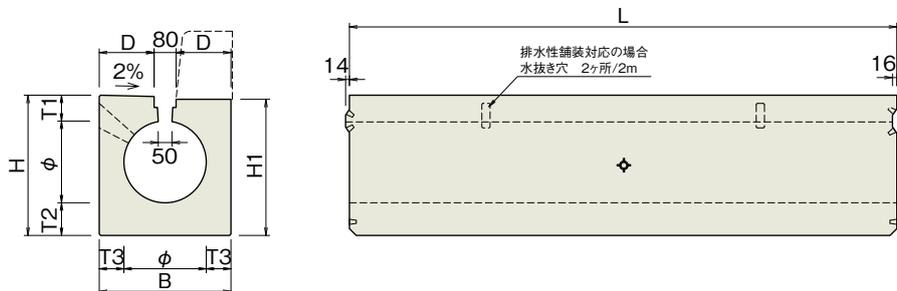
III 型 一般道路縦断用 (境界ブロックなし) (開渠)



種類	呼び名	H	B	D	T1	T2	T3	L	参考重量 (kg)
III 型	φ200	383	360	140	93	90	80	1995	480
	φ250	449	420	170	94	105	85	1995	634
	φ300	515	480	200	95	120	90	1995	814
	φ350	575	540	230	95	130	95	1995	994
	φ400	606	600	260	96	110	100	1995	1105
	φ500	727	720	320	97	130	110	1995	1523
	φ600	848	850	385	103	145	125	1995	2047

※III型は専用グレーチングが必要となります。

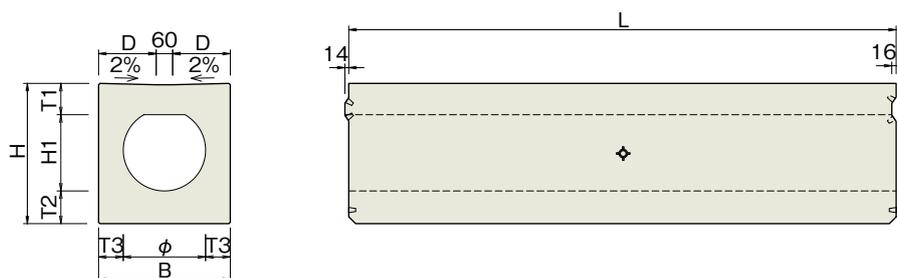
Ⅳ型 一般道路縦断用(境界ブロックあり) (開渠)



種類	呼び名	H	H1	B	D	T1	T2	T3	L	参考重量(kg)
Ⅳ型	φ200	383	370	360	140	93	90	80	1995	474
	φ250	449	435	420	170	94	105	85	1995	627
	φ300	515	500	480	200	95	120	90	1995	804
	φ350	575	560	540	230	95	130	95	1995	984
	φ400	606	590	600	260	96	110	100	1995	1091
	φ500	727	710	720	320	97	130	110	1995	1511
	φ600	848	830	850	385	103	145	125	1995	2024

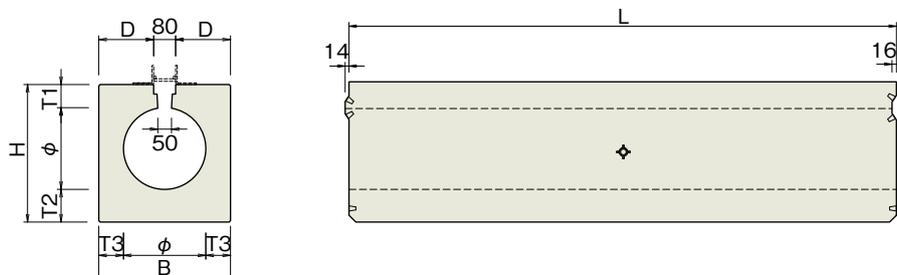
※境界ブロックはJISタイプ、円型水路専用タイプ共に対応できます。

V型 横断用ⅡⅢⅣ型タイプ (暗渠)



種類	呼び名	H	H1	B	D	T1	T2	T3	L	参考重量(kg)
V型 (Ⅱ~Ⅳ型用)	φ200	383	180	360	150	113	90	80	1995	498
	φ250	449	230	420	180	114	105	85	1995	558
	φ300	515	280	480	210	115	120	90	1995	818
	φ350	575	320	540	240	125	130	95	1995	994
	φ400	606	360	600	270	136	110	100	1995	1102
	φ500	727	440	720	330	157	130	110	1995	1429
	φ600	848	540	850	395	163	145	125	1995	2075

都市型 (開渠)



種類	呼び名	H	B	D	T1	T2	T3	L	参考重量(kg)
都市型	φ200	375	360	140	85	90	80	1995	471
	φ250	440	420	170	85	105	85	1995	623
	φ300	505	480	200	85	120	90	1995	800
	φ350	565	540	230	85	130	95	1995	978
	φ400	595	600	260	85	110	100	1995	1285
	φ500	715	720	320	85	130	110	1995	1507
	φ600	835	850	385	90	145	125	1995	2014

アングル高さ h=50~110まで

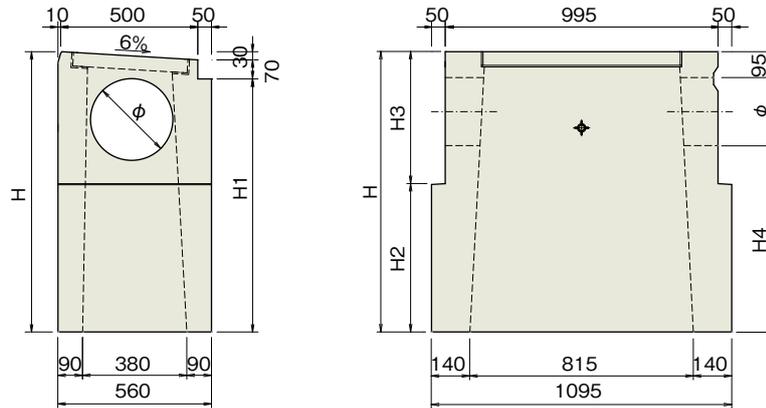
取扱地域 北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州 沖縄

※取扱地域が記載されていない地域については、担当営業所(P488)にお問い合わせください。

集水枡寸法図

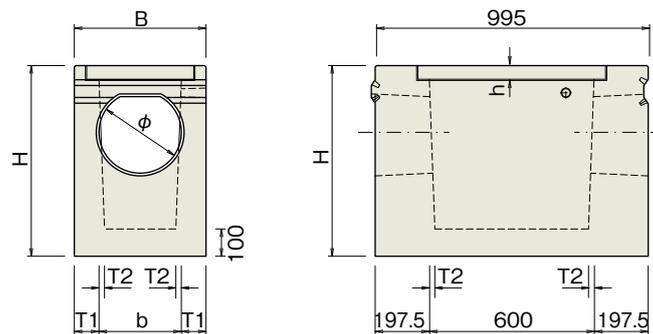
(単位:mm)

I 型用 集水枡(グレーチング付)



種類	呼び名	H	H1	H2	H3	H4	参考重量(kg)
I 型用	φ300	1030	930	545	485	635	703
	φ400	1030	930	435	595	535	653

II III IV V 型用 集水枡



種類	呼び名	H	B	b	T1	T2	h	参考重量(kg)
II ~ V 型用	φ200	600	360	200	80	20	44	387
	φ250	700	420	250	85	20	44	482
	φ300	700	480	300	90	20	50	500
	φ350	800	540	350	95	20	55	644
	φ400	800	600	400	100	20	55	755

カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

通信関連

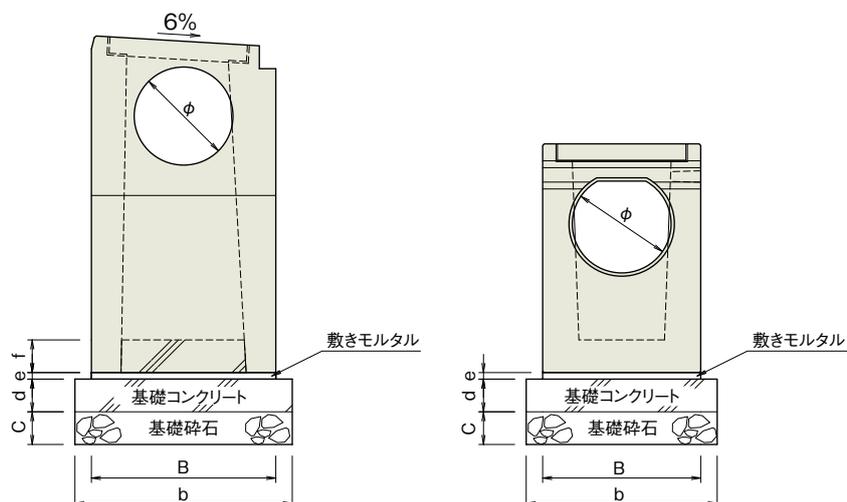
建築・宅造

特殊工法・
新素材

参考資料

参考歩掛(集水桝)

施工断面図



10基当り

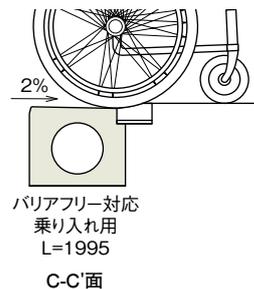
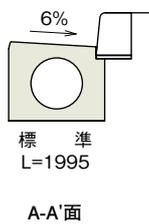
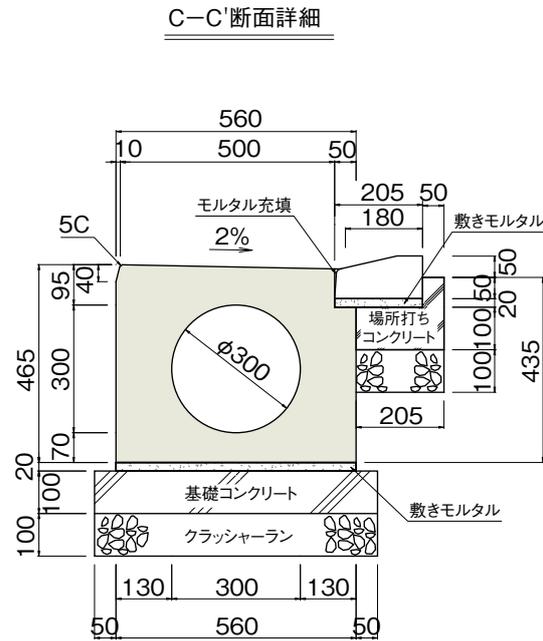
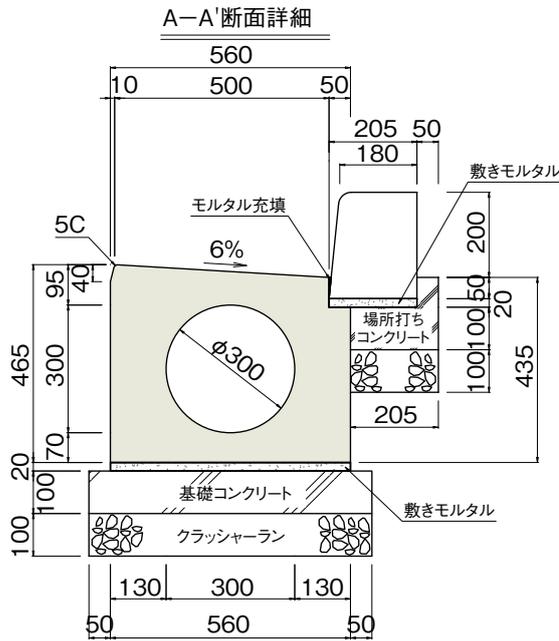
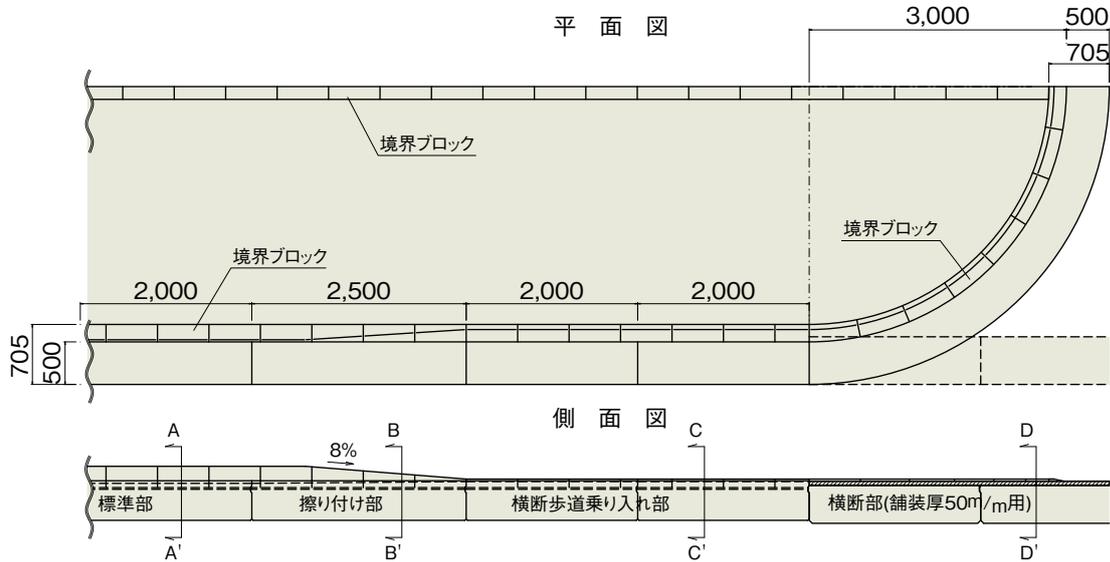
種類	内径 φ mm	製品幅 B mm	基礎幅 b mm	基礎 砕石厚 C mm	基礎コン クリート厚 d mm	敷モル タル厚 e mm	インバート 厚 f mm	型枠 面積 m ²	基礎砕 石量 m ²	基礎コン クリート 立積 m ³	敷モル タル立積 m ³	インバート コンクリート 立積 m ³
I型	φ300	560	660	100	100	20	100	3.32	0.66	0.66	0.12	0.31
	φ400	560	660	100	100	20	100	3.32	0.66	0.66	0.12	0.31
II III IV V型	φ200	360	460	100	100	20	—	2.72	0.46	0.46	0.08	—
	φ250	420	520	100	100	20	—	2.84	0.52	0.52	0.09	—
	φ300	480	580	100	100	20	—	2.96	0.58	0.58	0.10	—
	φ350	540	640	100	100	20	—	3.08	0.64	0.64	0.11	—
	φ400	600	700	100	100	20	—	3.20	0.70	0.70	0.12	—

名称	単位	1基当りの重量(kg)		
		200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下
		II ~ V φ200	II ~ V φ250 II ~ V φ300	I型φ300 I型φ400 II ~ V φ350 II ~ V φ400
世話役	人	0.2	0.3	0.4
特殊作業員	人	0.2	0.3	0.4
普通作業員	人	0.4	0.7	1.0
ラフテレーンクレーン	日	0.4	0.5	0.6

取扱地域 **北海道** **東北** **関東** **中部** **北陸** **近畿** **中国** **四国** **九州** **沖縄**

※取扱地域が記載されていない地域については、担当営業所(P488)にお問い合わせください。

I 型 バリアフリー対応案 (施工例) (単位:mm)



カルバート・
下水道

擁壁・
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・
環境

貯留・
防災システム

通信関連

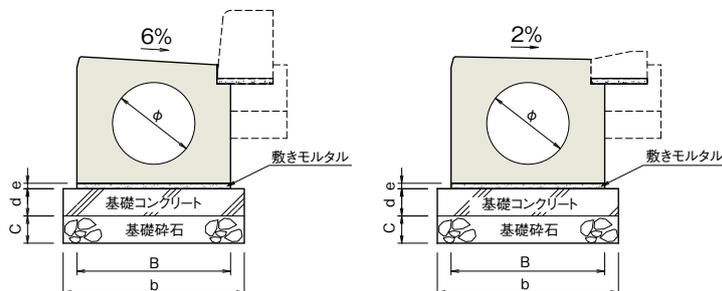
建築・宅造

特殊工法・
新素材

参考資料

参考歩掛(本体)

I 型 据付参考図



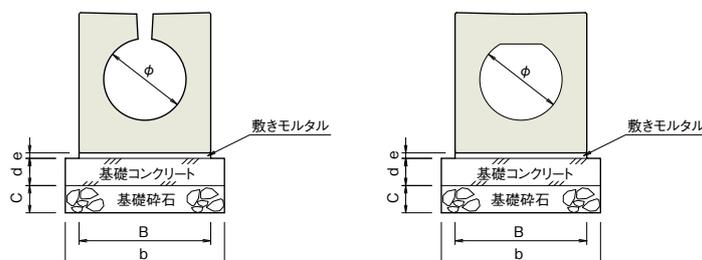
I 型(暗渠タイプ)据付歩掛り

10m当たり

内径 φ mm	製品幅 B mm	基礎幅 b mm	基礎 砕石厚 C mm	基礎コン クリート厚 d mm	敷モル タル厚 e mm	型枠 面積 m ²	基礎 砕石量 m ²	基礎コン クリート立積 m ³	敷モル タル立積 m ³
φ300	560	660	100	100	20	2.0	0.66	0.66	0.12
φ400	560	660	100	100	20	2.0	0.66	0.66	0.12

名称	品 種	形状・寸法	単位	φ300	φ400
据付工	本 体		ヶ	5	5
	敷モルタル量	1:3	m ³	0.12	0.12
	世話役		人	0.2	0.2
	特殊作業員		人	0.2	0.2
	普通作業員		人	0.8	0.8
	ラフテレーンクレーン	4.9t吊	日	0.3	0.3
諸 雑 費			%	7	

II III IV V 型 据付参考図



II III IV V 型・都市型(開渠・開渠用横断タイプ)据付歩掛り

10m当たり

内径 φ mm	製品幅 B mm	基礎幅 b mm	基礎 砕石厚 C mm	基礎コン クリート厚 d mm	敷モル タル厚 e mm	型枠 面積 m ²	基礎 砕石量 m ²	基礎コン クリート立積 m ³	敷モル タル立積 m ³
φ200	360	460	100	100	20	2.0	0.46	0.46	0.08
φ250	420	520	100	100	20	2.0	0.52	0.52	0.09
φ300	480	580	100	100	20	2.0	0.58	0.58	0.10
φ350	540	640	100	100	20	2.0	0.64	0.64	0.11
φ400	600	700	100	100	20	2.0	0.70	0.70	0.12
φ500	720	820	100	100	20	2.0	0.82	0.82	0.15
φ600	850	950	100	100	20	2.0	0.95	0.95	0.17

名称	品 種	形状・寸法	単位	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ500	φ600
据付工	本 体		ヶ	5	5	5	5	5	5	5
	敷モルタル量	1:3	m ³	0.08	0.09	0.10	0.11	0.12	0.15	0.17
	世話役		人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	特殊作業員		人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	普通作業員		人	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	ラフテレーンクレーン	4.9t吊	日	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
諸 雑 費			%	7						

施工手順

ジョイントピンを使用しての施工方法

◆製品の据付の準備◆

- 丁張り及び敷きモルタルの用意が出来ればクレーンにて所定の位置に製品をセットする。
- クレーンは、位置の微調整が充分に行ない得る様吊り上げ能力の大きな方がよい。
- 標準としては製品重量の3倍以上を使用するものとする。

又、足場の状態により使用重機の種類を選定すること。

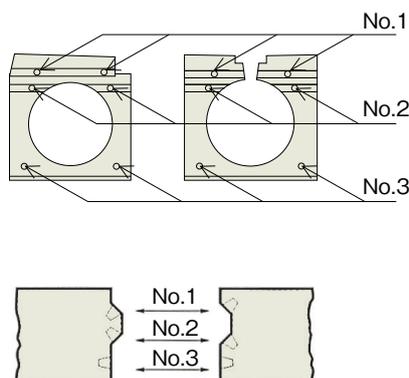
- 製品の吊り上げ方法は、専用の吊り上げ冶具を用いて行うのが安全且つ能率的である。
ただし、この冶具は有償支給あるいは有償貸し出しとなる。

コンクリート製品据付けは、下記の要領で行ってください。

- ①第1個目を専用吊り上げ冶具を用いて正確に所定の位置に据付ける。
- ②第1個目の連結用ピン穴に連結用ジョイントピンを奥まで確実に差し込む。
連結用ジョイントピンが奥まで確実に差し込まれていないと連結時にコンクリート製品本体に破損を招く恐れがあると共に確実な連結を妨げる事となる。
- ③製品には連結部分側に計6個の連結用ピン穴が設けてあるが、接合条件に合わせて連結用ジョイントピンの差込位置を変更することにより対応が可能である。
連結用ピン穴6個の内、4個の連結用ピン穴にジョイントピンをセットし据付ける。接合条件と連結用ピン穴の使い分けについては、(図参照)連結面に対して垂直に設けてある連結用ピン穴(下図 No.3)は常時使用する。
- ④クレーンにより2個目の製品をつり上げ、1個目に差し込んだ上部連結ジョイントピンに2個目の上部連結用ピン穴を差込み徐々に2個目を降ろし2個目を据付ける。
- ⑤2個目の据付けが終われば、3個目から最後まで2個目と同様に据付けを順次行う。

従来の接続方式とは違い、金具やボルトを使用しないので、施工の効率アップにつながります。

連結用ピン穴位置



据付け方法略図

